オレンジネット『住み慣れた地域』で安心して生活していくために

本人の状態に応じて、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスなどを受ければ良いかを示したものです。予想される症状や状態の変化の目安として参考にして下さい。

	健康	軽度	中等度	重度	
	元気な時期 ~ 気づきの時期	認知症はあるが日常生活は自立している時期	誰かの見守りがあれば日常生活は自立できる時期	日常生活に手助けや介護が必要な時期	
本人の様子 (症状や行動)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 同じことを何度も言ったり探し物が増える ◆ 慣れた作業に以前よりも長く時間がかかる ◆ 駐車が以前より不得意になる ◆ 性格が変わったと感ずることがある ◆ 言ったことや聞いたことが覚えられない ◆ できないが増えてくる ◆ もの忘れの自覚がある ◆ 人や物を見てもその名称が出てこない ◆ 「あれ」「それ」言葉が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 同じことを何回も聞く ◆ 時間・日にちがわからない ◆ 約束が思い出せない ◆ 薬の飲み忘れが目立つ ◆ 買い物や金銭管理にミスがみられる ◆ 最近のことを覚えられない ◆ 新しい場所に旅行することが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 思い込みが強くなる、指示が通じない ◆ 食べたことを忘れてしまったり食べ物をあるだけ食べてしまう ◆ 他人には普通に話すが、家族に対しては怒鳴ったり大きな声で怒る ◆ できないことでも「できる」と答える ◆ 一人でよく道に迷う ◆ 入浴を嫌がる ◆ いつ・どこで・何をしたのか出来事を忘れる ◆ 買い物で同じ物を購入する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 妄想・幻覚が多くなる ◆ 入浴に介助が必要になったり、入浴を怖がる ◆ 食べることの理解ができない ◆ すぐ興奮する ◆ 着替えやトイレ等がうまくできない ◆ 尿・便失禁する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ほぼ寝たきりで意思疎通が困難 ◆ 会話ができなくなる ◆ 家族や身近な人が分からない ◆ 表情が以前に比べ乏しい ◆ 体調の自己管理が難しく、肺炎や脱水が起こりやすい ◆ 歩行や座位が難しい ◆ 昔の記憶も忘れていく
家族の対応	『いつもと違う様子が見られたときには、早めにかかりつけ医や丹波認知症疾患医療センターに相談しましょう』		『制度やサービスを利用して介護負担を軽減しましょう』	『家族が傍にいたことが安心につながります』	
相談窓口	丹波市高齢者あんしんセンター、地域包括支援センター（東部・西部・南部）【P9】、居宅介護支援事業所、かかりつけ医等				
認知症予防	いきいき百歳体操【P10】ふれあい・いきいきサロン、いきいき百歳体操サポーター養成講座【P12】、老人会、趣味活動、ボランティア活動、地域活動等				
医療受診	専門医療機関（鑑別診断実施）【P13】、かかりつけ医等				
本人・家族支援	若年性認知症のつどい「半歩の会」【P5】、認知症介護者のつどい「ほっと」【P14】、もの忘れ医療相談、認知症カフェ【P15】				
安否確認・見守り	認知症高齢者見守り事業（早期発見SOSシステム）、見守りネットワークQRコード【P17】、認知症高齢者等個人賠償責任保険事業【P18】、緊急通報システム、認知症サポーター養成講座【P19】、民生委員、警察署、駐在所、コンビニエンスストア、近隣住民、認知症サポーター等				
権利擁護	権利擁護専門相談会【P20】、成年後見制度利用支援事業、日常生活自立支援事業【P21】				
外出・移動	運転免許の自主返納制度【P22】、高齢者運転免許自主返納支援事業、デマンド（予約）型乗合タクシー【P23】、福祉送迎サービス（おでかけサポート）事業【P24】、高齢者外出支援事業【P25】				
生活支援	配食サービス【P26】、訪問理美容サービス、日常生活用具購入費補助【P27】、くらし応援隊、シルバー人材センター【P28】、介護用品給付事業等				
介護サービス	介護保険サービス（居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス、その他）【P29】 ※ 介護サービスに関する詳細は介護保険のパンフレットを参照				